

- 金 参拾壹圓也
 - 金 貳拾圓也
 - 金 拾貳圓五拾錢也
 - 金 拾貳圓四拾錢也
 - 金 八圓也
 - 金 五圓也
 - 金 参圓也
 - 金 参圓也
 - 金 拾八圓也
 - 金 拾圓也
 - 白米 五俵也
- 〱 倉田工同志會、全技工組合、全輸出工組合、
 - 瀧呂灶入燒業組合、
 - 下石陶画工組合
 - 瑞浪製陶労働組合
 - 土岐津陶工組合
 - 品野陶工組合
 - 妻木止御製陶労働組合
 - 泉支部
 - 上田陶友組合
 - 堀次市会
 - 瀧呂有志者
 - 臥知製陶労働組合(第一回分)
 - 臥知製陶労働組合(第二回分)

- 金 壹百圓也
 - 金 拾圓也
 - 金 伍百圓也
 - 諸 種 志 持 也
- 臥知製陶労働組合(立替債附)
 - 同盟本部(第一回分)十月一日
 - 同盟本部(第二回分)十月十二日
 - 有志者

更に徹底的應援を乞ふ
 爭議回餉の途

戦いの中に秋は更けて 山峡の所々朝夕日剛寒の風が身に去み了 林立す
 漁業は枯木のやうにさびしく 一切の活動と停止した瀧呂の所には
 死の谷のやうな冷たい霧が流れておる
 〱 罷退を資本家に反抗して解放の戦いに献身する爭議團の意
 気は天を衝いて 團結の嵐より固く 對戦時にも日未だ一人の背
 切者も出さぬが 朝夕に迫り来る飢餓窮乏の恐怖は逃れる途が